

Heart Team | 弁膜症、先天性心疾患 ASD/PFO/PDA 含む



熊本の弁膜症は済生会

この度、心不全・弁膜症患者さんの診療依頼を気軽に行って頂けるホットラインを開設しました。24時間、365日、循環器専門医が直接、ご相談をお受けいたします。お待ちしております。

当院の心臓病治療の特長は、熊本で唯一、弁膜症に対するロボット手術やカテーテル治療を積極的に行っていることです。小さな傷で済みますので、合併症も少なく短期間でリハビリが進み、早期の退院が可能です。

熊本の弁膜症は済生会です。

副院長 / カテーテル・低侵襲血管内治療センター長 / 医療情報部長 / 循環器内科上席部長

坂本 知浩 さかもと ともひろ



TAVI治療を経験して

2013年よりTAVI治療が導入され、これまで700例以上の手術に参加してきましたが、従来の開胸し体外循環を使用しての人工弁置換術に比較し、やはり圧倒的に低侵襲といえると思います。開心術だと手術時間は4時間程度はかかりますが、TAVIだと1時間程度、しかも局所麻酔で治療できます。最近ではデリバリーシースが細く改善され更に侵襲が小さくなりました。そのうえ3機種目のTAVIデバイスが当院でも導入され、治療の選択肢も広がっています。今後も患者さんにとって最善の治療をハートチームで検討しつつ、更なる安全なTAVI治療に臨みたいと思います。

心臓血管外科副部長

出田 一郎 いでた いちろう

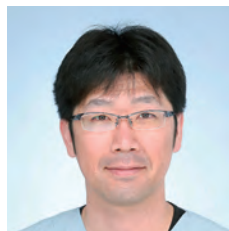
循環器内科



堀端 洋子
ほりばた ようこ
・日本超音波医学会 指導医
・MitraClip 指導医



山田 雅大
やまだ まさひろ
・日本超音波医学会 専門医
・MitraClip 指導医



兒玉 和久
こだま かずひさ
・MitraClip 指導医



堀尾 英治
ほりお えいじ
・TAVR 指導医 (SAPIEN)



前田 美歌
まえだ みか
・日本超音波医学会 指導医

包括診療科



鈴山 寛人
すずやま ひろと
・TAVR 指導医
(SAPIEN・Core Valve)



神波 裕
こうなみ ゆたか
・TAVR 指導医
(SAPIEN・Core Valve)



中山 智子
なかやま ともこ
・日本超音波医学会 専門医



佐々 利明
さっさとしはる
・心臓血管外科 専門医



TAVI



Mitra Clip



ASD/PFO/PDA



心エコー

[サイクル]

済生会熊本病院 連携広報誌

vol. 77

2022.December

s a i k u r u

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

弁膜症

弁膜症、先天性心疾患 ASD/PFO/PDA 含む

ホットライン

新設

24時間 365日



循環器内科直通

社会福祉法人
恩賜財団
済生会熊本病院
SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL

連携・患者紹介に関しまして、ご不明な点などございましたら地域医療連携室までご連絡ください。
TEL.096-351-8372 FAX.096-351-8505 熊本市南区近見5丁目3番1号



弁膜症 ホットライン

弁膜症、先天性心疾患 ASD/PFO/PDA 含む

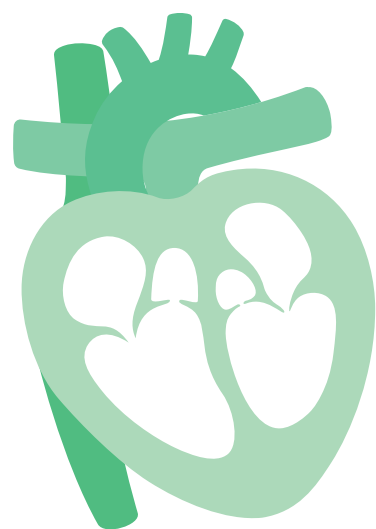
循環器専門医対応 **24時間 365日**

地域医療連携室 096-351-8372 までお問い合わせいただきますと
専用の電話番号をお伝えいたします

通話時、患者さん情報をお伝えください

①氏名 ②生年月日 ③ご連絡先 ④緊急度(ER受診 or 外来予約)

- ✓ 大動脈弁狭窄症
- ✓ 大動脈弁逆流症
- ✓ 僧帽弁狭窄症
- ✓ 僧帽弁逆流症
- ✓ 三尖弁逆流症
- ✓ その他(心雑音など)



高齢者や、併存疾患を多く持つ患者さんに関してもお気軽にご相談ください

これまで通り救命救急センター直通コールもご利用ください

 **096-351-0099**

LINE 公式アカウント



◀ GO TO LINE

済生会熊本病院 - 循環器内科ホットライン

循環器内科・地域医療連携室にて随時ご返答いたします。お気軽にご利用ください。



タヴィ TAVI (経カテーテル的大動脈生体弁植込術)

本邦では2013年10月からTAVI治療が可能となり、2023年で10年目を迎えます。当院でも2013年12月からTAVIを開始し、現在までに700例を超える症例の治療を経験させていただきました。TAVIの良好な長期成績から適応年齢は引き下げられる傾向にあり、近年では外科的大動脈弁置換術後の生体弁機能不全や透析患者における大動脈弁狭窄症に対しても適応が拡大されております。その間に外科的大動脈弁置換術も大きな進歩を遂げており、Minimally Invasive Cardiac Surgery (MICS)でのより低侵襲な治療方法もご提案できるようになりました。済生会熊本病院においては、【カテーテル治療】と【低侵襲心臓手術】を両輪として、「**まだ重症ではないが定期的なフォローが望まれる患者様**」から「**手術リスクが高く治療に悩まれる患者様**」まで幅広く対応させていただいております。緊急症例についても状態に応じて速やかな対応がとれるよう体制を整えておりますので、是非気軽に連絡をいただけますと幸いです。

循環器内科 神波 裕



マイトラクリップ MitraClip (経皮的僧帽弁接合不全修復術)

当院では僧帽弁逆流症に対するMitraClip治療を2018年より開始し、県内外からご紹介いただいた160例を超える症例を経験しました。他院では治療困難な症例に対しても積極的に取り組み、良好な治療成績を得ています。「**中等症～重症(3+)以上の僧帽弁逆流症を有する**」患者さん、「**安静時では中等症(2+)程度だけれども、労作時の息切れを訴える患者さん**」などをご紹介いただけますと、運動負荷エコーを含めた詳細な評価を行い、治療適応を判断します。当院ではダヴィンチロボットを用いた低侵襲僧帽弁形成術もあり、Heart Teamで患者さんの予後やQOL、ご意向を重視した治療戦略を考えます。『**外科手術が困難といわれたので保存的に見ている**』、『**安静時だけの弁膜症評価しかできていない**』などの患者さんがいらっしゃれば是非、弁膜症治療の経験が豊富な済生会熊本病院までご紹介ください。“重症化する前に評価・治療介入する”ことが患者さんの人生をより良いものに変えたいと考えています。

循環器内科 兒玉 和久



成人先天性心疾患に対する心血管インターベンション

成人先天性心疾患に対する心血管インターベンションは心房中隔欠損症/卵円孔開存(ASD/PFO)を中心に動脈管開存症(PDA)や心室中隔欠損症(VSD)を対象としています。本邦ではASD/PFOとPDAが主な治療対象となっておりますが、目立った症状がない場合が比較的多いとも言われています。無症候性のまま心臓超音波検査で偶発的に見つかる場合もありますが、すでに右心室に負荷がかかっている場合は治療適応があるとされています。治療の主な目的は右心不全や感染性心内膜炎の予防となりますが、**一旦罹患すると予後が悪く、そのため予防が重要**となります。心臓超音波検査がスクリーニングとなりますが**ASD/PFO,PDAの疑いのある場合は当科へ**まずはご紹介いただけますと幸いです。経食道エコーや造影CTを含めた精査を行い、患者さんごとの治療戦略やその後のフォロー計画を立てさせていただきますので、どうぞお気軽にご連絡をいただけますと幸いです。

循環器内科 鈴山 寛人